

平成23年度 第1回道徳資料収集

欄外に☆印のある資料は、この冊子に収集されています。○印の資料は、送付されたものを資料係(小豆坂小 鶯生)が保管しています。

無印のものについては、実践された先生に直接お問い合わせください。

資料番号	学校・学校番号	資料名(指導内容)	資料の出典	実践学年	実践者	
H23-1	小2・根石	ひとみとりさは本当の友だち？ 2-(3)信頼・友情	小3教育技術20076号 小学館	小4	大本 満子	
		<p>あらすじ・ひとみとりさは、幼稚園からの仲良しである。しかし、あるできごとをきっかけに、ひとみ側から感じた内容が、りさの日記にはりさ側から感じた内容が記されている。</p>				
		<p>発問①ひとみはどんなことを思いながら、この日記を書いたのか。</p> <p>②りさは、どんなことを思いながら、この日記に書いたのか。</p> <p>③二人に言ってあげたことを書こう。</p>				
		<p>コメント・相対する二人の人物の日記を読んで考えるというちょっとユニークな資料。最初に、ひとみの日記を読んで話し合ったあと、りさの日記を読んで話し合い、どちらか共感できる方を選んで、さらに話し合った。お互いの思いのずれが明らかになると、どちらかの気持ちも共感できるところがあるということにより、本当の友達になるためには、どうすればよいか大きな吹き出しに書かせ、黒板にはっていった。</p>				
H23-2	小4・美合	友だちって いいな 2-(3)信頼・友情	DVD「ラブレッター」TBSテレビ	小6	畔柳 光則	
		<p>あらすじ・施設で育てられ小豆島へやってきた聴覚障害のある少女美波(小6)。授業参観で、合唱をすることになり、美波が指揮することになった。</p>				
		<p>発問①「お前も何かできるやろ。みんなで歌おう。」と言ったときの海司君はどんな気持ちだったか。</p> <p>②美波が合唱をやると言ったとき、海司君はどう思ったか。</p> <p>③うまくいかない美波を励まそうとしたが、気持ちが通じなかったとき、海司君はどう思ったか。</p> <p>④女子のパートの合図を送ったのは、どんな気持ちからだったのか。</p>				
		<p>コメント・内容は子供たちに合っていたと思うが、場面を止めるのが難しかった。発問する場面の選択に苦労した。</p>				
H23-3	小6・羽根	大切な命 3-(1)生命の尊重	『たん生日』『ぼく』 東京書籍	小2	岡本きみゑ	
		<p>あらすじ・「たんじょう日」の主人公なつこが、母親と二人でアルバムを見ている。母親が「こんなに大きくなってうれしいわ。お誕生日おめでとう。」となつ子に言葉をかけると、なつ子は「とてもすばらしいプレゼントをもらったんだなあ。」とつぶやく。プレゼントは、物でなく、アルバムの話に込められた母親の気持ち・愛情が描かれている。</p>				
		<p>発問①大きくなるまで、なっちゃんはどうなことがあったと思うか。</p> <p>②お母さんに「お誕生日おめでとう」と言われたとき、なっちゃんはすてきなプレゼントをもらったね、プレゼントは何か。</p> <p>③みんなは、お母さんにどんなことを言いたくなったか。</p>				

☆資料

	コメント・資料の挿絵を提示しながら資料を読むことで、話の内容を理解することができた。子供たちに一人一人の思いを引き出すためには、資料と子供たちの体験を関連させていくことが大切であると思う。					
H23-4	小9・三島	かとうげんじゅうさん 1-(2) 勤勉・努力	自作資料	小2	佐々木八津子	○資料
	<p>あらすじ・機械に右手をはさまれ、指を失った加藤源重さんが自分の右手ではしを持つと、補助具を作った。はじめは、専門家に頼んだが断られ、不自由な手で悪戦苦闘しながら、あきらめずに作り、完成させた。</p> <p>発問①補助具を作ろうとして、専門家に頼んだが「無理です」と断られたときの気持ち</p> <p>②自分で作り始めたが、左手も傷だらけになったときの気持ち</p> <p>③万能ホルダーができて、右手が動かせるようになったときの気持ち</p> <p>コメント・文章が2年生のわりには長くなってしまったが、子供たちが、真剣に考えることができ、あきらめずに最後までやり通してよかったという源重さんの気持ちに共感できた。自分のことが考えやすかった。</p>					
H23-5	小11・連尺	あいさつって いいもんだ 2-(1) 礼儀	『道徳教育』 明治図書	小3	清水 佳代	☆資料
	<p>あらすじ・あいさつの大きらいなおる君は、ある日「あいさつなし村」に行く。そこでは、遊ぼうと思っても、ジュースを買っても、何のあいさつもなく、次第に心が沈む。とおる君は、急いで家に帰る。帰ったら、いちばんにお母さんに「ただいま」って言おうと思いながら。</p> <p>発問①あいさつのことをお母さんに注意されたとき、とおる君はどんなことを思っていたのか。</p> <p>②公園で遊べなかったり、あいさつなしでジュースを買ったりしたとおる君は、どんな気持ちだったか。</p> <p>③お母さんに「ただいま」を言ったあと、とおる君はお母さんにどんなことを話したか。</p> <p>コメント・「あいさつ村」という設定が、子供たちの興味をひいた。あいさつのないときのおる君の心情に共感することで、あいさつの大切さを痛感することができた。</p>					
H23-6	小18・山中	いのちのまつり 3-(1) 生命の尊重	絵本『いのちのまつり』草場一壽作サンマーク出版	小2	高田紗絵子	
	<p>あらすじ・ある島にやってきたコウちゃんが、島のオバアに出会い、そのオバアにご先祖さまのことを教えてもらう。ご先祖様の多さに驚くとともに、自分の命の大切さに気づいていくお話。</p> <p>発問①いのちの大切さにしなさいとよく言われるけど、どうして大切だと思う。(導入)</p> <p>②ご先祖様って、何人いるのかな。(P17)</p> <p>③いのちをどうして大切かな。(まとめ)</p> <p>コメント・2年生では、まだ少し難しいかもしれない。しかし、絵本が縦に広がるので、楽しんでた。また、ご先祖さまが何かよく分かったようで、集中してお話を聞いていた。</p>					
H23-7	小24・常磐	小さな手から 2-(5) 尊敬・感謝、報恩	『みんなのどうとく』 学研	小6	深津 智子	

	<p>あらすじ・主人公ゆみ子は、阪神・淡路大震災で被災し、避難所でつらい生活を送っていた。そこで、被災者のために懸命に働く先生の姿を見て、自分も何かをしたいと思い、避難所新聞を作ったという話。</p>			
	<p>発問①避難所でゆみ子は、どんな気持ちだったか。</p> <p>②大西先生たちの姿を見て、ゆみ子はどんなことを思ったか。</p> <p>③この地震を経験して、ゆみ子は何を学んだと思うか。</p>			
	<p>コメント・東日本大震災の記憶が新しい今、震災に関する資料を取り上げたいと考えた。ゆみ子の気持ちを追うことで、避難所生活を支えてくれている先生たちへの尊敬や感謝の思いを気づかせたい。「人の役に立ちたい」という意見が多ければ、勤労・奉仕として扱うこともできる資料。</p>			
H23-8	小 26・奥殿	被災地の様子を写した画像	保護者からの被災地映像のDVD	小5 橋本直司
	<p>あらすじ・東日本大震災を考える ～私たちにできること～</p> <p>保護者の中で、被災地で実際に撮影を行われた方がいて、その方から画像をCDIにいただいた。それをもとに、被災の様子を実感し、私たちが何をすべきかを考えさせた。</p>			
	<p>発問①被災について感じたことや気づいたことを言おう。</p> <p>②私たちが今の段階でできることは何かを考えよう。</p> <p>③支援にあたって、大切なことは何かを考えよう。</p>			
	<p>コメント・TVや新聞報道で知っていると思うものの、それは大人の視点で、子供たちは撮影された画像を言葉もなく見入っていた。こうしたことをしっかりと時間をとり、考えさせることはやはり大切だと感じた。支援で大切なことは「継続」ということだった。</p>			
H23-9	小 27・細川	ぞうのみずあそび 2-(2) 思いやり・親切	絵本『ぞうのみずあそび』 絵本館	小1 渡辺位千代
	<p>あらすじ・暑い日、ぞうが仲間の動物を背中に乗せて池に水遊びに行った。ところが、体の大きなぞうは、「水があふれてしまう」と仲間と言われて腹を立て、池の水を飲みほしてしまう。ほんとうは、水をはき出したいぞうだが、素直になれず、かえるがしっぽを引っぱった勢いで、水をふき出してしまった。楽しかった動物たちと、すっきりしたぞうは、仲良く遊び始めた。</p>			
	<p>発問①ぞうの背中に乗って池に行くときのライオンの気持ちを考えよう。</p> <p>②ぞうを追い出して、水遊びをしているときのライオンの気持ちを考えよう。</p> <p>③水をのみこんで怒っているぞうを見たときのライオンの気持ちを考えよう。</p> <p>④この話で、大切にしたいと思ったことは、何か。</p>			
	<p>コメント・ぞうではなく、ライオンの気持ちを追うことで、自分が友達に対して気をつけなければいけないことが明確につかめたように思う。発問③でライオンや自分の行動を振り返ることができた。</p>			
H23-10	小 40・小豆坂	天ごととじごく 2-(2) 思いやり・親切	『天ごととじごく』より自作 トルストイ作	小1 伊達 恭子

ODVD

☆資料

	<p>あらすじ・地獄では、円いテーブルの上にご馳走が並べられ、それを亡者が食べようと必死になっている。しかし、手には長い箸がひもでくりつけられ、どうしても自分の口までご馳走がもっていけずにもがき苦しんでいる。一方、天国では環境としては地獄とまったくかわらないが、天国の亡者はみな、長い箸でとったご馳走を周りの人に食べさせてあげるので、みんな笑顔である。</p>				○指導案	
	<p>発問①ごちそうを見て、どう思ったか。</p> <p>②1mほどの長い箸を見てどう思ったか。</p> <p>③天国と地獄では、何か違うと思うか。</p>					
	<p>コメント・発問③で、相手に対して思いやりの気持ちがあるか、自分のことしか考えていないのではないかが、天国と地獄の違いだと気づく児童が多かった。言葉も、天国は言われて嬉しくなる言葉であり、地獄は言われて悲しくなる言葉であると気づく児童が多かった。</p>					
H23-11	小40・小豆坂	「ゆうくんの二年一くみ」 4-(4)愛校心	小二教育技術 7月号 増刊	小2	三井 靖子	☆資料 ○指導案
	<p>あらすじ・ゆうくんはかけっこが得意で、運動会のリレーをととても楽しみにしていた。しかし、本番で転んでしまい、ゆうくんのクラスは負けてしまう。落ちこんでいたゆうくんだったが、帰りの会で、クラスの女の子がゆうくんのがんばりをみんなの前で発表し、ゆうくんもクラスも笑顔になった。</p>					
	<p>発問①リレーが始まる時、ゆうくんはどんな気持ちだったか。</p> <p>②「あーあ、ころんじゃった。」という声が出たとき、ゆうくんはどんな気持ちだったか。</p> <p>③あいちゃんの発表を聞いたとき、ぼくはどんなことを思ったか。</p>					
	<p>コメント・発問②で、友だちの言葉が”忘れられない”ことに着目させ、主人公の気持ちになってより深く考えられてよかった。授業後は、雰囲気がかくなり、友達のよいところやがんばりを認める言動が増えたように感じた。</p>					
H23-12	小40・小豆坂	ふしぎな音 3-(1)生命の尊重	文溪堂 小学校2年	小2	鶴生 ひとみ	☆資料 ○指導案
	<p>あらすじ・校医の藤原先生の話「命には限りがあること」「心臓は休まず動いていること」「人間は、三分間心臓が止まってしまったら、死んでしまうこと」を聞いたしょうた君はびっくり。命はどうしたらわかるのか校医の先生に聞いた。聴診器で自分の不思議な心臓の音を聴いた。先生の質問に対する友達の意見を聞きながら、「ほんとうにそうだ。」と、たった一つしかない命の大切さに気づくお話。</p>					
	<p>発問①しょうた君が藤原先生の話聞いたとき、どんなことを考えたのか。</p> <p>②しょうた君が聴診器で心臓の音を耳にした、しょうた君はどんな気持ちだったか。</p> <p>③みんなの意見を聞いて、しょうた君は、どんな気持ちだったか。</p>					
	<p>コメント・校医の藤原先生の命にかかわるお話を聞いて反応していた。(心臓が1日に何回動いているか、3分間心臓が止まっていたら、死んでしまうこと)実際に、心音計の心臓の音を耳にして、子供たちは不思議さを感じた。校医の先生から、心臓が動いていることのできることを問われて、できることを答えたことを聞いて、子供たちは、自分と重ねることができた。命について考える、よい資料であった。</p>					
	いのち	3-(1)生命の尊重	『いのちのおはなし』日野原 重明 講談社	小2	鶴生ひとみ	

	<p>あらすじ・95歳のわたしから10歳の君へと語りかける。「いのちは、どこにありますか。」と問いかけ、命について授業されている。「いのちは、きみたちのもっている時間、それを大切にしてほしいこと。もう一つは、自分以外のことのためにも使おうとすること。」</p> <p>コメント・資料『ふしぎな音』の【終末】に、この本を活用。資料『ふしぎな音』の終末で、お医者さんの日野原先生『いのちのはなし』を読み聞かせた。子供たちは、楽しそうに話を答えながら、聞いていた。日野原先生が授業の中で問われている命のことをじっと聞き入っていた。命が時間を使っていることを知る機会になったようだ。</p>				
H23-13	中1・甲山	25メートル泳げた！ 1-(2)目標・実現	自作資料	中2	星井 令子
	<p>あらすじ・平泳ぎが少ししかできなくて、自信がなかった主人公。水泳部の佐々木さんがコーチをしてくれて、足のやり方を教えてもらった。平泳ぎが25メートルいけなかった人が2回目の挑戦で、友達が応援をしてくれた。速くなって、足も普通の人と変わらないほど上手になった気がした。「すごかったね。」「やったね。」と、喜んでくれた。</p> <p>発問①「いいこと」と聞いて、すぐに思いつくことは、どんなことか。</p> <p>②最近、何かいいことはあったか。</p> <p>③作文の中にあつた「いいこと」は、何か。</p> <p>コメント・自分にとって、小さくてもいいことを見つけられるようになった。「いいあいさつだね。」と言われたなど、ちょっとしたことでも、うれしいと感じられるようになり、幸せであることの確認ができた。</p>				

☆資料
・ワークシート